

令和7年3月

魚津市定例記者会見



日時：令和7年2月28日(金) 午後1時30分～午後2時20分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、読売新聞
NHK、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 市民意識調査 結果報告

(企画政策課)

この調査は、総合計画を策定するタイミングで実施しており、総合計画を作成するために、前回実施したのは令和元年になります。前回同様3,000人を対象に調査をしており、前回の回答数が1,127人、今回は1,646人であり500人ほど回答は増えています。それ以外にも、市民意識調査を2年に1回やっており、質問項目により前回比較の年度が違ってきますのは、質問項目が変わっているためです。(内容について、概要版で説明)

2. 魚津市まちづくりフォーラム2025

(地域協働課)

開催のテーマは、若者の声を届けよう、地域づくりを楽しもうということであります。第一部は、今年度実施をいたしましたオンデマンド交通に関するシンポジウムで、結果等についてお話をさせていただきます。

第二部は、地域振興会に加えて、魚津高校、新川高校、ウィスキーフェスの実行委員会、そして、東京大学の学生さんによる活動発表を予定しております。また、魚津工業高校の生徒さんによる、体験教室、デジタルものづくり体験なども行われることになっていきます。ぜひ取材の方をお願いします。

3. 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムの実施（現地報告会）

(地域協働課)

松倉地区の住民の皆さんとの情報交換や交流などを行っておられ、オンラインミーティングを行いながら、この松倉地区、中山間地域の課題、解決、課題について考える取り組みをやっていただいているところであります。学生さんたちは、11月と今回は振興会長さんのご自宅に泊まって、地域の方々と本当に膝を突き合わせて、いろいろ意見

交換をされてきたというふうに伺っていて、どのような発表をしていただけるのか楽しみにしております。

【質疑応答の内容】

○市民意識調査について

《記者からの質問と回答》全体の感想を聞きたい。

《市長回答》

全体としてかなりご回答いただいた件数が増えたと感じました。市政への関心、意識が高まっているのかなというふうにまず受けとめました。

施策の満足度ですとか、今後取組むこと、といった話については、やはり災害対策についての意識がかなり際立っているということを強く感じました。

《記者からの質問と回答》

「子どもを望む人が安心して子どもを産むためには、どのようなことが必要か」、という質問の回答で、「出産できる産婦人科や医療機関があること」と答えた回答者割合が最も高くなっている。少子化が進んでいる中でどのように受け止めたのか。

《市長回答》

設問の選択肢にこの答えがあり、2つ○を付けるとなると、やはりどうしてもこうなるのはやむを得ないのかなと感じています。おそらく、医療機関に医師が集約化されていくという流れは、一般の方もかなり、もうお耳にしていらっしゃるのではないかと思います。少子化がここまで進んでくると、やはり1つの市町だけでなく、ある程度の圏域として、どうやって出産する環境といいますか、施設を守っていくかということも考えないといけない状況になっていると痛感しています。